

サルマメ

ユリ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

Smilax biflora Sieb. ex Miq. var. *trinervula* (Miq.) Hatus.

国カテゴリー

該当なし

選定理由

石川県では産地の極めて限られた種類である。(現況:RO)

形態

つる性の半低木で葉は冬に落葉する。類似種はサルトリイバラで、これは散形花序に多数の花がつき、葉は大型で巻きひげは長い。本種では散形花序に1~3個の黄緑色の花が着き少数、葉は小型でくさび形、巻きひげは無い。あってもごく短いので区別は容易である。本種は地下に根茎があり、茎はやや立ち、高さ15~30cmでやや分枝し、液果は赤熟して直径5mm程度。屋久島・奄美大島に分布するものを、ヒメカカラ var. *biflora* といひ、葉はさらに小さく、密に分枝する。

国内分布

本州(関東以西)。中国に分布する。

県内分布

南加賀区、白山高地区。県外から侵入したものと思われる。

生態など

花期は5月。

生育環境

林縁などの日当たりのよい場所。

危険要因

道路工事、踏みつけ、自然遷移。



白井伸和・2000年5月7日

分布図はありません。

県内の分布